

●2. モーターについて●

2-8. アルタスマーターの設置と調整

I. アルタスマーターのリミット調整

※リミット調整に時間がかかったり、連続して動作を繰り返すとモーターに内蔵されているサーマルプロテクタが働き、送信機を押してもモーターが作動しなくなりますが、故障ではありません。そのまま30分以上電源を切ってお待ちになりますと、モーターの動作が可能になります。この時、モーターは140～160℃になりますので注意して下さい。

※出巾が大きい場合、リミット設定中にサーマルプロテクタが働いてしまう事がありますので、張り出し方向のリミットを適当な位置設定した後、微調整で希望の位置に設定すると、サーマルプロテクタが働く可能性が低くなります。

※リミット設定の途中でサーマルプロテクタが働いてしまった場合でも、電源を切らなければそまでの設定は記憶されています。サーマルプロテクタ解除後、引き続き設定を再開する事が可能です。

※金属は電波を通しにくい性質を持っていますので、設置状況によっては受信感度が下がる場合もあります。

◎設定時における送信機の取扱い注意事項

- ・リミット調整は、送信機を使用して行います。送信機の仕様については、「3-6. 無線装置」を参照して下さい。
- ・設定モード（設定を行う状態）では、送信機のボタンを押している間だけ動き、操作モード（最終登録後）は短いボタン操作（ワンプッシュで動作）となります。
- ・送信機のボタン操作で、電波は連続5秒までしか送れません。5秒に達すると自動的に2秒の休止時間が設けられ、一時的に操作が出来ない状態となりますのでご注意ください。（電波法により）
- ・送信機の裏にあるプログラムボタンは各設定を登録する為のものです。リセットボタンではありませんので、むやみに押さないで下さい。
- ・1台のアルタスマーターに、送信機は最大12台、アルタスマーター用風力・陽光センサーまたは振動センサーを最大3台登録出来ます。

※下記の①～⑦の手順の途中で操作を間違えてしまい設定方法が分からなくなってしまった場合は、モーターの電源を入れ直して下さい。再度①からの設定が可能となります。

[1] 巻き取り・張り出しのリミット位置の設定

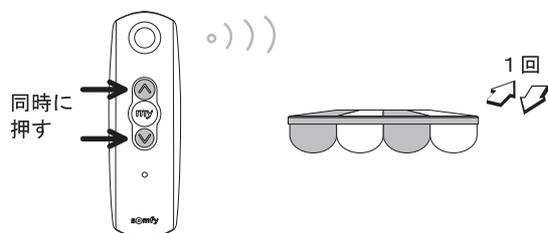
①リミット設定の準備

オーニングにモーターを組み込み、電源を接続して下さい。

※組み込みとは、モーターが巻取パイプにセットされ、キャンバスが取り付けられた状態の事です。

②リミット位置の設定モード（設定を行う状態）

送信機の「UP (∧)」と「DOWN (∨)」ボタンを「キャンバスが小さく1往復」動作するまで同時に1回押します。動作すると設定可能状態になります。



③張り出し、巻き取り方向の確認

送信機の操作ボタンとキャンバスの張り出し/巻き取り方向が正しいか、送信機の「UP (∧)」 「DOWN (∨)」 ボタンを押して確認して下さい。

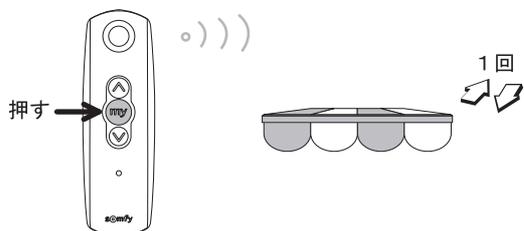
※回転方向は再設定できません。必ずこの時点で確認して下さい。

【正しい場合】

特に操作はしないで④へ進んで下さい。

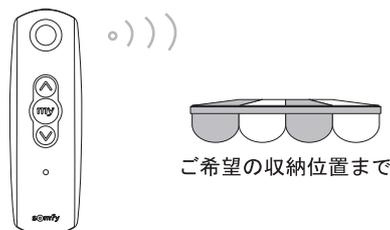
【違う場合】

送信機の「STOP (my)」 ボタンを「キャンバスが小さく1往復」動作するまで押します（約2秒）。動作すると回転方向の変更が完了します。



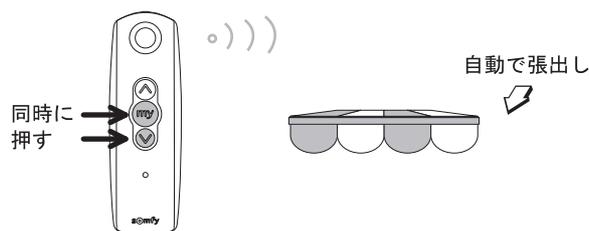
④「巻き取り側」リミット位置の設定

送信機の「UP (∧)」と「DOWN (∨)」ボタンで、ご希望の収納位置に合わせます。



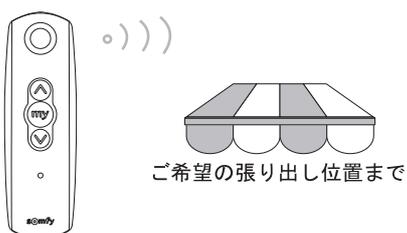
⑤「巻き取り側」リミット位置の決定

送信機の「STOP (my)」と「DOWN (∨)」ボタンを「自動的にキャンバスが張り出されるまで」同時に押して下さい（約2秒）。「張り出し」動作が始まりましたら、送信機の「STOP (my)」 ボタンを押して、一旦停止させて下さい。



⑥「張り出し側」リミット位置の設定

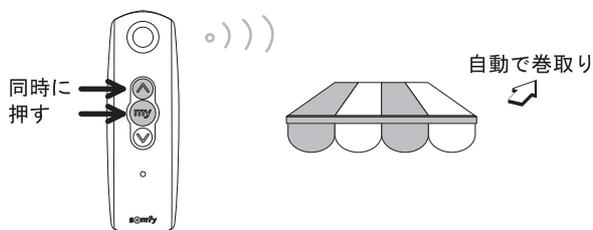
送信機の「UP (Λ)」と「DOWN (V)」ボタンで、ご希望の張り出し位置に合わせます。



⑦「張り出し側」リミット位置の決定

送信機の「STOP (my)」と「UP (Λ)」ボタンを「自動的にキャンバスが巻き取られるまで」同時に押して下さい (約2秒)。「巻き取り」動作が始まりますと、⑤で設定した位置で自動的に停止します。

※自動的に停止するまでの間、絶対にボタン操作は行わないで下さい。



⑧「巻き取り側」、「張り出し側」リミット位置の記憶

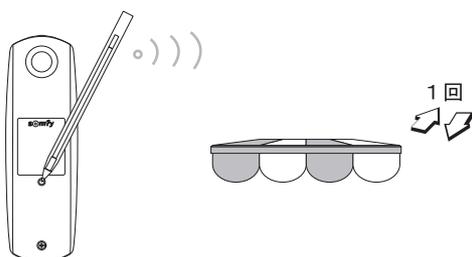
送信機の「STOP (my)」ボタンを「キャンバスが小さく1往復」動作するまで押します (約2秒)。動作するとリミット位置が記憶されます。



⑨操作モード (最終登録)

送信機裏の「プログラムボタン」を「キャンバスが小さく1往復」動作するまで押します (約2秒)。動作するとリミットの設定が登録されます。

※操作モード (最終登録) 後は、短いボタン操作 (ワンプッシュで動作) となります。

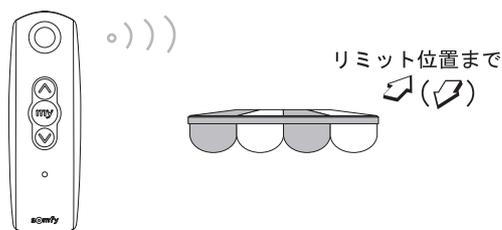


[2] リミット位置の微調整

リミット位置の設定が完了し、操作モードになった (⑨最終登録) 後に、リミット位置の微調整を行う場合の方法です。

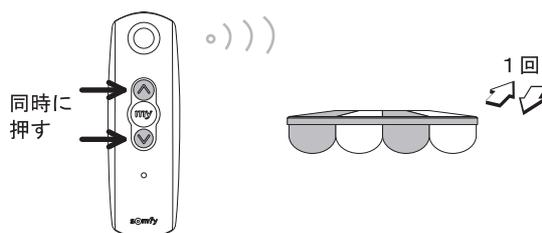
※リミット位置の微調整中に約2分間何も操作しないと、そこまでの設定は解除されます。

①「巻き取り (張り出し) 側」リミット位置の微調整
送信機の「UP (Λ)」 (張り出しは「DOWN (V)」) ボタンで、現時点でのリミット位置まで巻き取って (張り出して) 下さい。



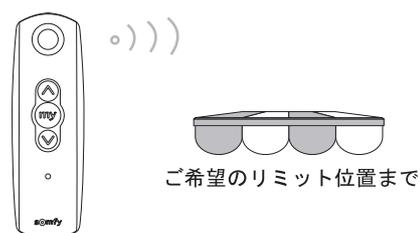
②設定モード (設定を行う状態)

送信機の「UP (Λ)」と「DOWN (V)」ボタンを「キャンバスが小さく1往復」動作するまで同時に押します (約5秒)。動作すると設定可能状態になります。



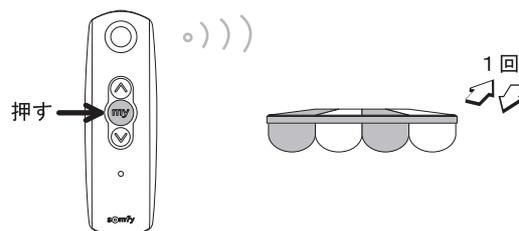
③リミット位置の調整

送信機の「UP (Λ)」と「DOWN (V)」ボタンで、リミット位置の調整を行って下さい。



④調整したリミット位置を記憶

送信機の「STOP (my)」ボタンを、「キャンバスが小さく1往復」動作するまで押します (約2秒)。動作すると調整したリミット位置が記憶されます。



1

2

3

4

5

6

●2. モーターについて●

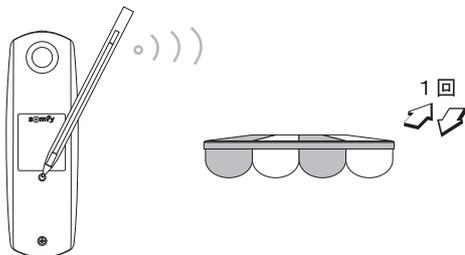
[3] 送信機の追加登録

送信機を増やして操作する場合の登録方法です。

①送信機の追加登録準備

「既にご使用の送信機」裏の「プログラムボタン」を「キャンバスが小さく1往復」動作するまで押します（約2秒）。

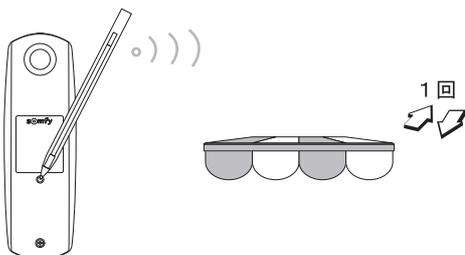
動作すると登録可能状態になります。



②送信機の追加登録

「追加する送信機」裏の「プログラムボタン」を「キャンバスが小さく1往復」動作するまで押します（約2秒）。

動作すると送信機が追加登録されます。



[4] 送信機の新規登録

ご使用の送信機が破損又は紛失をしてしまった場合の登録方法です。

※登録されている送信機は全て削除されます。

①送信機の新規登録準備

モーター電源の「ON/OFF」操作を下記「1～5」の手順で行います。「5」の操作後、キャンバスが「最後に動作した方向とは逆方向」に動作します（約5秒）。

動作すると登録可能状態になります。

電源を10秒以上「OFF」にしてから下記手順を行って下さい

1	2	3	4	5
電源「ON」	電源「OFF」 3秒	電源「ON」 10秒	電源「OFF」 3秒	電源「ON」

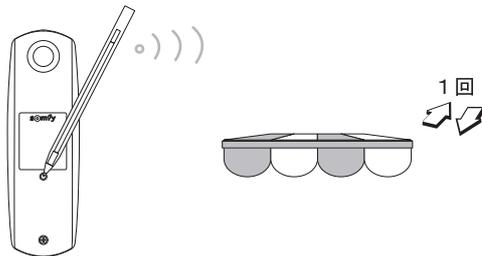
最後に動作した方向と逆方向



②送信機の新規登録

「新規に登録する送信機」裏の「プログラムボタン」を「キャンバスが小さく1往復」動作するまで押します（約2秒）。

動作すると送信機が新規登録されます。



[5] 送信機の登録削除

「[3] 送信機の追加登録」と同じ操作を行って下さい。

※「追加する送信機」の部分で「削除する送信機」に置き換えて下さい。

[6] 登録されている設定を全て削除（オールクリア）
設定済みのモーター及び送信機を設定前の状態にする方法です。

（注）リミット位置や送信機の登録等が全て削除されます。

①設定削除の準備

モーター電源の「ON/OFF」操作を下記「1～5」の手順で行います。「5」の操作後、キャンバスが「最後に動作した方向とは逆方向」に動作します（約5秒）。動作すると設定削除可能状態になります。

電源を10秒以上「OFF」にしてから下記手順を行って下さい

1	2	3	4	5
電源「ON」	電源「OFF」 3秒	電源「ON」 10秒	電源「OFF」 3秒	電源「ON」

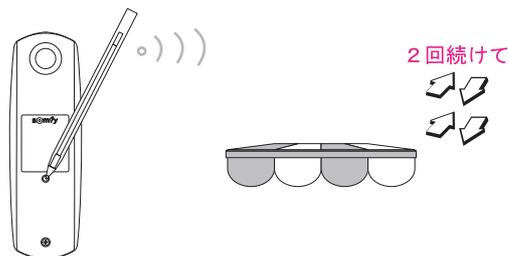
最後に動作した方向と逆方向



②登録されている全ての設定削除

送信機裏の「プログラムボタン」を「キャンバスが小さく1往復」が2回続けて動作するまで押します（約5秒）。

動作すると登録されている設定は全て削除されます。



1
2
3
4
5
6